

新幹線の多目的室の写真集

作成 2025年11月23日
写真撮影と解説文：半沢一宣

多目的室とは、簡易ベッドに転換できる構造の座席を備えた個室のことです。

国鉄時代は急病人・病弱者の休憩や授乳などでの利用を想定した設備という位置づけでしたが、JRは、2007年に就役したN700系以降の車両では、電動車いすでの乗車スペースとしての機能を重視するようになってきました。

既存の車いす対応座席は折り畳みできる手動の車いすでの利用を想定した設計のため、折り畳みができない電動車いすの普及が進むにつれて、その置き場所に困るようになってきたからです。

その後JRは2021年から、東海道～山陽新幹線のN700Sや、上越・北陸新幹線のE7系などで、電動車いすのまま乗車できる車いすスペースを設置した車両を導入し始めました。

しかしJRは車いすスペースを設置した車両であっても、多目的室は車いすの人が優先とする取扱方を変えないままです。

このため、車いすスペースがある列車でも車いすの人が多目的室に乗車してしまうことによって、急病人・病弱者・臨月近い妊婦・乳児を連れた母親などが、多目的室を利用したくてもできない可能性があるという問題が、発生するようになってしまいました。

この問題を考える上での参考資料とするため、筆者がこれまでに撮影してきた多目的室の写真を集めた文書を作成しました。

なお過去の車両については、多目的室の内部の構造がわかる写真が残っている物のみを収録しています。

目次

1. 東海道～山陽新幹線100系	2
2. 山陽新幹線500系	4
3. 山陽～九州新幹線N700系	6
4. 東海道～山陽新幹線N700S	8
5. 山形新幹線E3系「つばさ」	11
6. 東北～北海道新幹線E5系「はやぶさ」「やまびこ」「なすの」	13
7. 秋田新幹線E6系「こまち」	14
8. 上越・北陸新幹線E7系「とき」「かがやき」など	16
9. 山形新幹線E8系「つばさ」	17
10. 【番外】JR東日本新潟支社485系「きらきらうえつ」	19

1. 東海道～山陽新幹線100系（JR東海とJR西日本が保有）
国鉄時代の1985年にグリーン車と食堂車を2階建として製造された車両
2012年に引退済み
（すべて2011年1月3日に車掌の許可を得て撮影）



100系の外観



100系の多目的室の外観



100系の多目的室の内部



100系の多目的室の通常の状態



100系の多目的室の簡易ベッドを
構成した状態



100系の多目的室の折りたたみイスの
使い方



100系の多目的室の案内掲示
授乳での利用を想定していたことが
わかる文面

2. 山陽新幹線500系（JR西日本が保有）

1997年に当時世界最速の時速300キロ運転を実用化した車両

2027年に引退予定



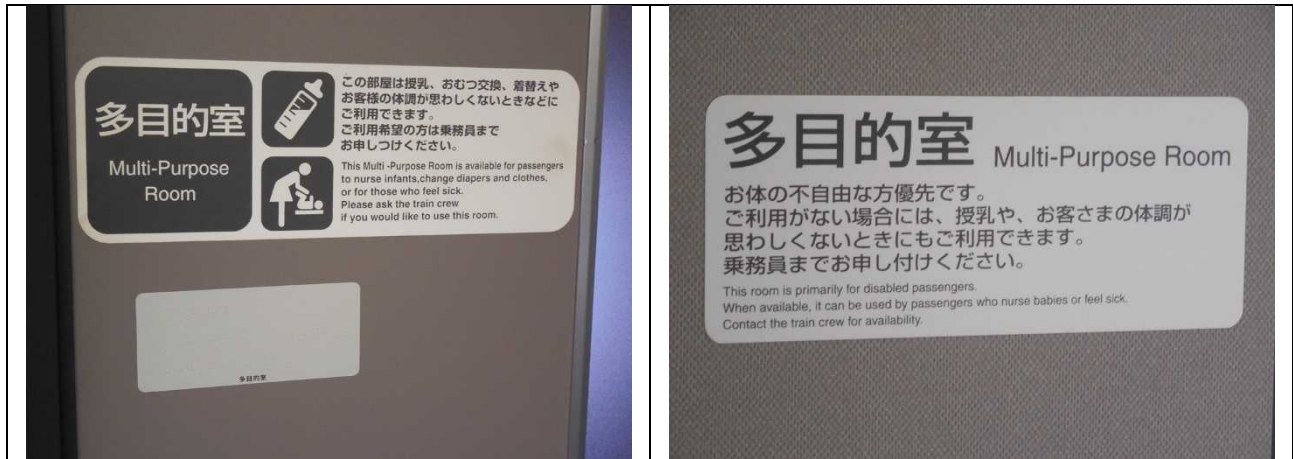
500系の外観



500系の多目的室の外観
(2025年10月8日に撮影)



500系の多目的室の内部
座面下のペダルを踏むと
座面と背ずりを手前に引き出すことができ
右端に見えている折りたたみイスと
組み合わせて簡易ベッドを構成できる
(2009年11月2日に
車掌の許可を得て撮影)



500系の多目的室の案内掲示
下は点字での案内板
(2015年2月22日に撮影)

500系の多目的室の案内掲示
文面はN700Sとまったく同じ
(2025年10月8日に撮影)



上の2015年版の案内掲示の拡大写真



500系の多目的室の折りたたみイスの
使い方
(2025年10月8日に撮影)

3. 山陽～九州新幹線N700系（JR西日本とJR九州が保有）
2011年の九州新幹線全線開業に合わせて製造された車両



N700系8両編成の外観



N700系8両編成の多目的室の外観
(2020年8月5日に撮影)



N700系8両編成の多目的室の内部
ハンドル形電動車いすに対応するため
面積が従来の車両よりも広がっている
(2011年8月5日に新大阪駅で
折り返し清掃作業中にホームから撮影)

多目的室 Multi-Purpose Room

お体の不自由な方優先です。
ご利用がない場合には、授乳や、お客さまの体調が
思わしくないときにもご利用できます。
乗務員までお申し付けください。

This room is primarily for disabled passengers.
When available, it can be used by passengers who nurse babies or feel sick.
Contact the train crew for availability.

N700系8両編成の多目的室の案内掲示の拡大写真
「お体の不自由な人（≡車いすの人）優先です」と明記
（2019年8月4日に撮影）

リクライニング操作方法 How to recline the seat.



・レバーAを上げて、
座ボタンをスライド
させる。

ベッド状態への操作方法 How to convert to bed.



・ボタンを押して
枕を引き出す。



・レバーAを上げて、
座ボタンをストッパー
に当たるまでスライ
ドさせる。



・レバーAとレバーBを
同時に上げてロックを
外し、背すりを倒し、
枕を引き出してベッド
にする。

※ 座席状態及びシートの前に立つてのベッド用レバーの操作は、座ボタンが滑り出し
転倒する恐れがあり危険ですので、おやめ下さい。
Please do not pull levers while sitting on or standing in front of the seat as the sliding seat
may cause injury.

N700系8両編成の多目的室の座席をベッドに転換する方法の説明図
枕を上へ抜いてから座面と背ずりを手前に引き出す
（2020年8月5日に多目的室へ乗車した車いすの人の許可を得て撮影）

4. 東海道～山陽新幹線N700S（JR東海とJR西日本が保有）
2020年にデビューし現在も増備を続けている最新型の車両



N700Sの外観



N700Sの多目的室の外観
内部は山陽～九州新幹線用の
N700系と同じ
(2021年6月1日に撮影)



N700Sの多目的室の案内掲示
白十字マークが
病人用の設備でもあることの証
(2021年6月1日に撮影)

お身体の不自由な方を優先してご案内します。
ご利用がない場合には、授乳や、お客様の体調が
思わしくないときにもご利用になれます。
乗務員までお申し付けください。

This room is primarily for disabled passengers.
When available, it can be used by passengers who nurse babies or feel sick.
Contact the train crew for availability.

N700Sの多目的室の案内掲示の拡大写真
下の写真のような車いすスペースを設置した車両でも
多目的室はお身体の不自由な方（≡車いすの人）が優先と明記している



N700Sの車いすスペース
床に車いす6台分の区画を明示
（2021年6月1日に撮影）



N700Sの7号車の喫煙ルーム跡を
改装したビジネスブース
JRはビジネスマンの会議や商談での
利便性向上をアピールしているが
病弱者や子育て世代の利便性後退について
一体どう考えているのか
（2025年10月8日に撮影）



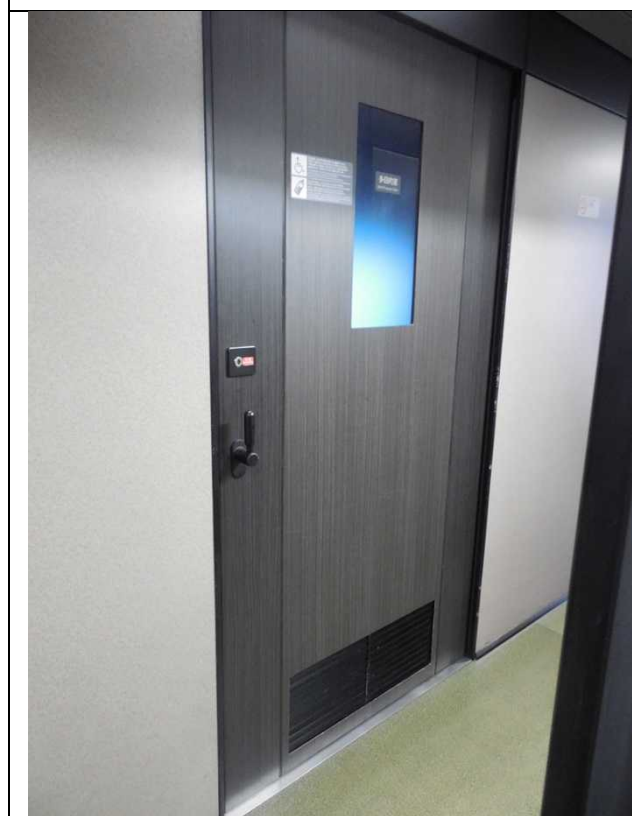
N700Sの15号車の業務用室（右）
3号車にも同様の業務用室がある
JR東海が2018年7月25日付で発表した
ニュースリリースの図面と照合すると
ここは防犯用具の物置であることがわかる
左は調査当時まだ存在していた喫煙ルーム
この向かいに授乳室を設置したこと自体が
JRには乳児への受動喫煙防止への配慮が
欠落していたことをも物語っている
（2021年8月5日に撮影）

左の写真で示した業務用室の掲示
下のステッカーには
「授乳でのご利用を希望される方は
乗務員にお知らせください。」
と記載されている
（2021年8月5日に撮影）

5. 山形新幹線E3系「つばさ」(JR東日本が保有)
 1999年にデビューした山形新幹線の2代目の車両
 2025年内に引退予定
 (すべて2020年2月23日に撮影)

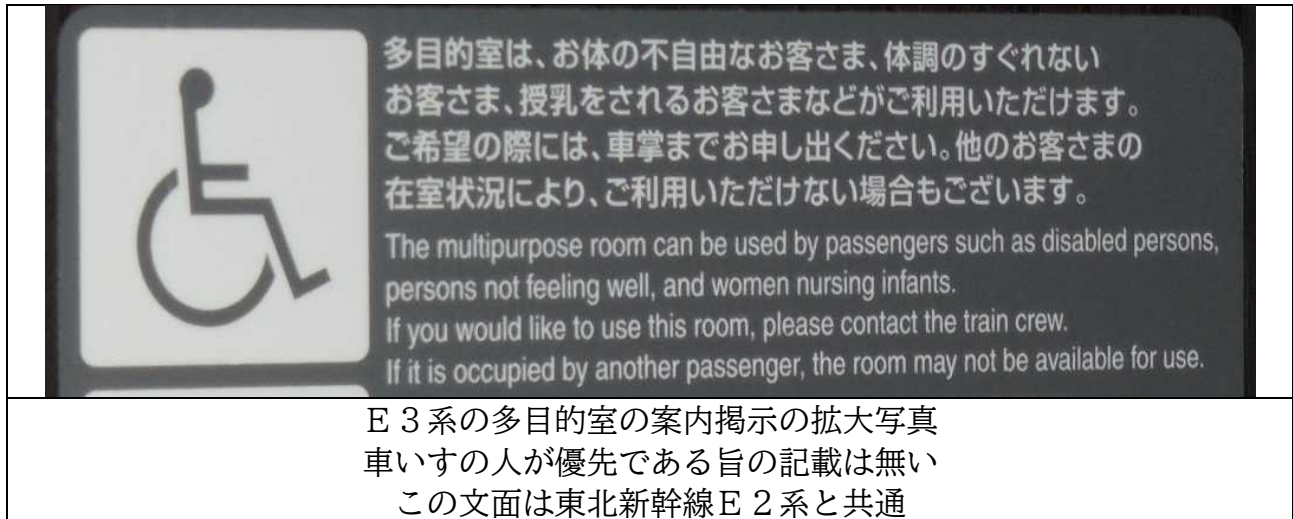


E3系の外観



E3系の多目的室の外観

E3系の多目的室の案内掲示



6. 東北～北海道新幹線E5系「はやぶさ」「やまびこ」「なすの」（JR東日本が保有）
 2011年にデビューした東北新幹線の主力車両
 JR北海道が保有するH5系も同じ仕様
 （すべて2025年11月3日に撮影）



E5系の外観



E5系の多目的室（左）の外観



E5系の多目的室の案内掲示
 文面は秋田新幹線E6系および
 上越・北陸新幹線E7系などと共通
 （拡大写真はE6系の項を参照）

7. 秋田新幹線E6系「こまち」(JR東日本が保有)
2013年にデビューした秋田新幹線の2代目の車両

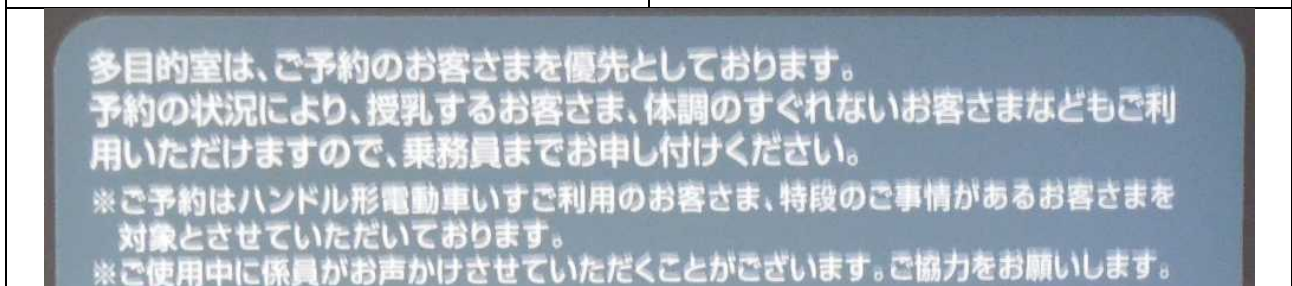


E6系の外観



E6系の多目的室の外観
(2025年11月2日に撮影)

E6系の多目的室の案内掲示
(2025年11月2日に撮影)



E6系の多目的室の案内掲示の拡大写真
ハンドル形電動車いすの人が優先である旨の記載が見える
この文面は東北新幹線用E5系および上越・北陸新幹線用E7系などと共通
(2025年11月2日に撮影)



E 6 系の多目的室が車内販売準備室に流用されていた状況
(2013年6月15日に撮影)

8. 上越・北陸新幹線E7系「とき」「かがやき」など（JR東日本が保有）
 北陸新幹線金沢開業に向けて2014年にデビューした車両
 上越新幹線と北陸新幹線では全列車をこの車両で運転
 JR西日本が保有するW7系も同じ仕様



E7系の外観



E7系の多目的室（左）の外観
 （2025年11月3日に撮影）

E7系の多目的室の案内掲示
 文面は東北新幹線E5系および
 秋田新幹線E6系などと共通
 （拡大写真はE6系の項を参照）
 下は点字での案内板
 （2025年11月3日に撮影）

9. 山形新幹線E8系「つばさ」(JR東日本が保有)
2024年にデビューした山形新幹線の3代目の車両
(すべて2024年7月11日に撮影)



E8系の外観



E8系の車いすスペース
床に車いす3台分の区画を明示
E8系では全列車に車いすスペースを設置
東北新幹線のE5系や
上越・北陸新幹線のE7系でも
同様の車いすスペースを設置した車両が
一部に存在している



E8系の多目的室の外観



E8系の多目的室の案内掲示
文面は東北新幹線のE5系や
上越・北陸新幹線のE7系などと共通

<p>E 8 系の多目的室の案内掲示文の拡大写真</p> <p>ハンドル形電動車いすのまま乗車できる車いすスペースを別に用意しているのに JR 東日本はハンドル形電動車いすを利用する人から多目的室の予約を受け付けており その場合は授乳や急病人の休憩での利用を断るという運用をしていることがわかる</p>	
<p>E 8 系の業務用室 間口の広さや奥行から 備品の倉庫だと思われる</p>	<p>E 8 系の業務用室の案内掲示 下のステッカーには 「授乳でのご利用を希望される方は 乗務員にお知らせください。」 と書かれている</p>

10.【番外】JR東日本新潟支社485系「きらきらうえつ」
 在来線特急電車を改造した「のってたのしい列車」の一員
 2001年から2019年まで運行
 (2007年9月30日に車掌の許可を得て撮影)



「きらきらうえつ」の外観



「きらきらうえつ」の車いす対応トイレと
 多目的室（右）との位置関係
 左のトイレ内には
 ベビーベッド（おむつ交換台）は無い



「きらきらうえつ」の多目的室の内部
 備品倉庫兼用ではなく純粋な乗客用設備
 授乳のほかおむつ替えでの利用も想定し
 テーブルと消臭剤を設置していた
 但し急病人の休憩に対応する簡易ベッドは
 スペースの制約のため設置していなかった

以上